

Space Designer検定試験 ガイドンス 2018年度(保存版通年使用)



contents

1 Space Designer検定試験ガイドンス	1
一般社団法人コンピュータ教育振興協会(ACSP)について	1
Space Designer検定試験について	1
実施組織	1
検定試験名／資格	1
受験資格	1
受験区分	2
受験料	2
受験対象者	2
合格者像	2
合格者のメリット	2
検定試験の課題と方法	2
評価基準	4
評価方法	4
合格基準	4
2018年度スケジュール	5
学習用参考書	5

1 Space Designer検定試験ガイドンス

➤ 一般社団法人コンピュータ教育振興協会(ACSP)について

一般社団法人コンピュータ教育振興協会(以下ACSP)は、2009年2月に設立された非営利法人です。

ACSPでは、「Space Designer検定試験」以外にも、各種検定の主催・運営業務を通じて学生および社会人の自己啓発意欲向上や就・転職などの支援活動を行っております。

ACSP Webページ <http://www.acsp.jp/>

➤ Space Designer検定試験について

国内には、旧建築基準法による建築住宅が、現在約1,600万戸(総務省「住宅・土地統計調査(2008年)」)あるとされており、今後、住宅の「リフォーム」や「リノベーション」は、ユーザにとって既存住宅の有効活用、経費削減、資産価値の向上、さらに建築資材の継続的利活用による環境対策など、多大なる価値を見出すことができます。

一方、住宅の「リフォーム」や「リノベーション」業界は、建築業界のみならず、すでに異業種の参入によって毎年市場規模が急速に拡大しており、今後は質の良い人材確保が急務となります。これらの流れは、特に女性の就業機会の拡大や地方経済の拡大・活性化に繋がります。

そこで、ACSPでは、上記業界に対応できる質の高い人材育成のため、建築図面を理解でき、ソフトウェアを利用して「リアルなCGパース画と説得力のある提案書」を作成できる人物像に焦点をあて、本検定試験を実施いたします。

Space Designer検定試験公式Webページ <http://www.acsp.jp/sd/>

➤ 実施組織

主催 : 一般社団法人コンピュータ教育振興協会(ACSP)
特別協力 : 大和ハウスグループ 株式会社デザインアーク
協力 : 安心計画株式会社、エーアンドエー株式会社、株式会社川島織物セルコン、グラフィソフトジャパン株式会社、大光電機株式会社、TOTO株式会社、福井コンピュータアーキテクト株式会社、リリカラ株式会社、株式会社Shade3D、株式会社町田ひろ子アカデミー、メガソフト株式会社、グラフィソフト株式会社

➤ 検定試験名／資格

検定試験名 : Space Designer検定試験
英語名 : Certification of Space Designer
資格名 : ①Space Designer 1級
②Space Designer 2級

➤ 受験資格

制限はありません。

▶ 受験区分

個人受験／団体受験

▶ 受験料

15,000円＋消費税（10名以上の団体は12,000円＋消費税）

▶ 受験対象者

建築物の内装を設計するのに必要な知識（製図、インテリア）と技能（ソフトウェアを利用したCGパース作成）・表現力を学習している方。

※専門学校生、大学生、資格スクール生、社会人を主な対象としています。

▶ 合格者像

拡大する住宅リフォーム&リノベーション市場で活躍できる、以下の能力を有する方を想定。
設計士およびインテリアデザイナーらのプラン意図を確実に汲み取り、自らの知識とセンスをソフトウェアを利用したCGパース画上で表現し、説得力のある提案書を作成する能力があること。

▶ 合格者のメリット

・Space Designer検定試験で「Space Designer1級」として認定された方の中で、特に優秀と評価された作品を、認定者の了解を得た上で、Space Designer検定試験公式Webページに1年間公開する。

▶ 検定試験の課題と方法

▶ 課題の目的

基礎課題 パース画像

この課題においては、2次元図面を適確に読み取り、その意図を理解した上で、3次元モデルを作成し、実空間におけるイメージを表現したCGパース画像を作成する能力を判定することを目的としています。作成の過程において必要とされるデータ処理能力、CADソフト応用能力も合わせて問われる課題となっています。

また、この課題では短期間でまとめる能力も問うため、提出を試験開始日より3日間に設定しています。

応用課題 提案書

基礎課題を元に、その空間に求められるインテリアスタイルやイメージを盛り込み、よりリアルに空間をイメージできる質の高いパース画像を完成させること、またパース画像を使用した魅力ある提案書を作成する能力を判定することを目的としています。この課題ではCGパース作成能力だけでなく、幅広いインテリアに対する知識やセンスも問われます。

▶ 配布データ

■ 図面

・PDFファイル(A3サイズ)で配布

・仕上表・平面図・平面詳細図・展開図・天井伏図・照明器具配置図・インテリアプラン

■家具・照明器具の3次元モデル

・中間ファイル(3DS、DXF)で配布

・3次元モデルのテクスチャに使用するイメージファイル(JPEG等)

・家具・照明器具の3次元モデルの確認用イメージファイル(JPEG等)

※3次元モデルにテクスチャが反映されない場合、確認用イメージファイルを参考にテクスチャ用イメージファイルを貼り付けてください。

■テクスチャ用イメージファイル

・床・壁・天井などのテクスチャを作成するためのイメージファイル(JPEG等)

▶ 提出物

基礎課題 パース画像(※課題内容は毎年異なりますのでご注意ください)

・指定方向から見た指定の部屋のパース画

例)リビングからダイニングを見たパース画

応用課題 提案書(※課題内容は毎年異なりますのでご注意ください)

(1) 完成パース画

(2) 提案書(PDFファイルA3サイズ1枚に、空間コンセプトをまとめたもの)

▶ 提出の形式

基礎課題 パース画像

・ファイル名を付ける(指示された番号を半角で記入)

・ファイル形式:JPEGファイル(ファイルサイズ5Mバイト以下)

・アスペクト(縦横)比:自由(作図の意図による)

・画像サイズ:試験問題に指定されたサイズで作図すること

・カラー:24ビットカラー(1,677万色)／RGB

※採点評価は紙出力ではなくモニター画像での目視による

※画像データを1つのフォルダ(フォルダ名:A 半角)に入れzip形式で圧縮し、マイページへアップロードすること

応用課題 提案書

・ファイル名を付ける(指示された番号を半角で記入)

・完成パース画像1点

・PDFデータ(A3サイズ1枚)

※PDFデータと画像データを1つのフォルダ(フォルダ名:B 半角)に入れzip形式で圧縮し、アップロードすること

▶ 検定試験の流れ

試験問題の提供

専用公式サイトでのマイページ登録を行い、課題と配布データを提供。

実施手順

①課題と配布データをダウンロード。

②課題と配布データを使用し、学校、職場、自宅などで課題作成。

③基礎課題、応用課題の順で、パース画像と提案書を作成し、期限内にマイページでアップロード。

④評価結果は、受験者全員のマイページに告知。

提出期限

【基礎課題】

・試験開始日より3日以内にアップロードを行うこと。期間内であれば何度でもアップロードできる(上書き保存される)。

【応用課題】

・基礎課題の作品提出後、期限最終日までにアップロードを行うこと。期間内であれば何度でもアップロードできる(上書き保存される)。

▶ 評価基準**▶ 基礎課題の評価基準**

基礎課題では、図面等で指定された項目を正しく読み取り、CGパース画像を仕上げられているかを評価します。

- ①問題図面から正しく空間形状が読み取れている。
- ②アングルの画角、アイレベルが要求されたとおりになっている。
- ③仕上げ材が指定どおり正しく表現され、その質感が実際の商品と著しく異ならない表現である。
- ④造作家具が指定の図面どおり表現されている。
- ⑤置家具、設備、照明器具が図面どおり正しく表現されている。
- ⑥問題図面から読み取れる条件を考慮した、太陽光や照明器具などの光の広がり表現されている。
- ⑦その他

▶ 応用課題の評価基準

応用課題では、より現実空間に近いパース表現ができているか、インテリアイメージの演出も含め魅力的な空間を表現できているか、また説得力のある提案書が作成できているかを評価します。

【パース画像の評価基準】

- ①内装材や家具の質感が現実的な見え方に近い表現となっている。
- ②問題の条件から読み取れるインテリアスタイルに合致した添景である。
- ③指定の家族構成、ライフスタイルを考慮した添景が挿入されている。
- ④ウインドウトリートメントが正しく表現されている。

【提案書の評価基準】

- ⑤表現するインテリアスタイルとして適切なカラー、フォントで作成されている。
- ⑥提案書として必要なパース画像を補完するデザインコンセプト、イメージ画像等が貼付され、かつその内容が指定のインテリアスタイルに合致したものである。
- ⑦提案書のコンセプトやインテリアイメージを伝えるために必要な説明が、適切かつ簡潔な文章で記載されている。
- ⑧バランスのよい魅力的な提案書となっている。

▶ 評価方法

「評価・判定委員」がすべての受験者のCGパース画および提案書を「評価基準」により総合的にチェックし、その結果に基づき、最終判定する。評価は得点(100点満点)をベースに、1級・2級の2段階評価とする。

※評価・判定委員:主催団体から委嘱された、企業・教育機関からの専門家(計5名程度)

※期限内(試験開始日より3日)に基礎課題(CGパース画像)の作品データが未提出の場合、その後応用課題を提出しても「評価対象外」となるので注意すること。

▶ 合格基準

資格名	合格基準
-----	------

Space Designer 1級	基礎課題の総合評価で70点以上、応用課題の総合評価で80点以上
Space Designer 2級	基礎課題の総合評価で70点以上 (応用課題は提出しなくても合格基準を満たせば取得可能)

➤ 2018年度スケジュール

検定試験期間	2019年2月5日(火)～2月14日(木)まで(検定試験期間は10日間です) 「基礎課題」は試験開始日より3日以内(2月7日まで)にアップロードすること。されていない場合は、評価対象外とする。
申込期間	2018年11月30日(金)～2019年1月15日(火)
合否発表	2019年3月中旬

➤ 学習用参考書

Space Designer検定試験公式テキスト&サンプル問題

※zip形式(PDFファイル、中間ファイル(3DS、DXF)、JPEGファイル含む)によるダウンロード

入手方法: Space Designer検定試験公式Webページよりダウンロードいただけます。